

●「エレベーター設備工事価格等情報データベース」の概要

【背景・現況】

- 平成26年3月「エレベーター設備工事価格等情報データベース」を構築
- 平成26年度以降、毎年度末にデータの拡充、国家機関、地方公共団体等に配付(令和5年度は令和6年3月末に配付)

- 調査対象機関…国家機関、都道府県、政令指定都市、独立行政法人等のうち、エレベーター設備工事の発注実績がある機関(83機関(データベース構築当初は、80機関))
※平成26年度より、すべての都道府県、政令指定都市が参加
(発注実績がある国家機関、独立行政法人等は構築時より全て参加)
- 対象工事期間…平成23年1月1日から令和5年12月31日までの契約工事
- ※ 今回、令和6年1月1日～令和6年12月31日までの契約工事を追加

○データベースの構築データ

【令和6年3月追加分】

・エレベーター工事件数 499 件 (普及型、一般型 905 台)

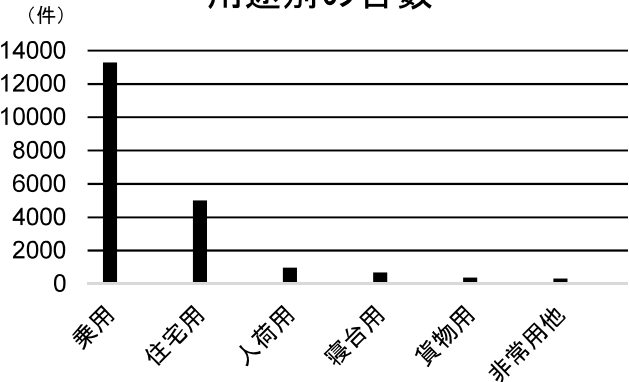
【合 計】

・エレベーター工事件数 8,681 件 (普及型、一般型 20,695 台)

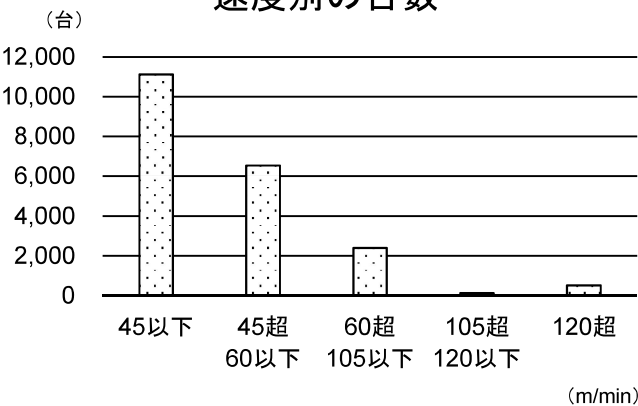
○データベース対象項目

1. エレベーター工事概要
発注年度、工事期間、工事地域、受注者など
2. エレベーター仕様
定員、速度、停止階数、乗場仕様、管制運転など
3. エレベーター本体、監視盤、共通費の価格
見積価格、予定価格、入札価格

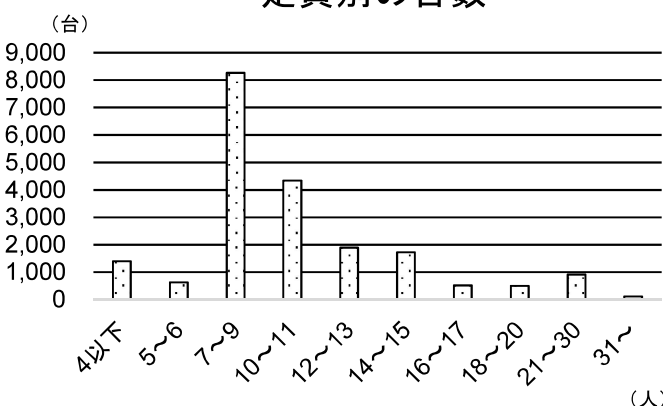
用途別の台数



速度別の台数



定員別の台数



令和7年度も継続して、データの収集及びデータベースの充実を実施予定
(今年度の調査票入力への依頼は、9月下旬頃を想定)